

▼「影」(メヒコ) B (1974)



生誕百年記念

深沢幸雄の生涯と銅版画

「市原市収蔵作品展」

令和7年2月4日(火)から令和7年2月16日(日)まで

市原湖畔美術館 多目的ホールにて ※2月10日(月)は休館

◆開館時間 平日：10:00～17:00 土曜・祝前日：9:30～19:00 日曜・祝日：9:30～18:00

最終入館は閉館30分前まで

◆会場 市原湖畔美術館 多目的ホール 【市原市不入75-1 / ☎0436-98-1525】

◆観覧料 無料 ※美術館の展覧会を観覧する場合は、別途観覧料が必要です。

◆主催 市原市

◆問合せ先 市原市地方創生部地方創生課 ☎0436-26-6350



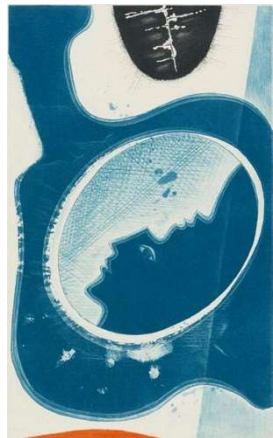
▲「廃墟の貌」(1955)
最初の版画作品

▼「骨疾 E」(1955)

原版と共に展示



▲ダンテ「神曲」《地獄篇》より
「ウゴリーノ」(左) / 「チェルベロ」(右)
共に日本版画協会賞受賞作品 (1957)



▲「愛に就いて」(1969・左) / 「橋」(1965・右)



▲「凍れる歩廊 (ベーリング海峡)」(1978)
「新大陸モンゴロイドシリーズ」より

展覧会の概要

市では、平成 17 年度に美術資料に関する収集方針を定め、市原ゆかりの作家を中心に、優れた美術作品を収集しています。

これまでに 730 点の作品を収蔵し、広く市民の方にご覧いただけるよう市役所ロビーのほか公共施設や学校等で展示紹介してきました。

平成 26 年度からは、市原湖畔美術館の多目的ホールにおいて、市収蔵作品展も開催しています。

今回は、名誉市民である銅版画家・深沢幸雄氏の生誕百年を記念し、その生涯を通して市原市鶴舞の地で作成された銅版画の変遷を振り返る内容の展覧会を開催いたします。

深沢氏は、その生涯の中で作風が何度も大きく変わり、日本国内だけではなく、メキシコにおいても大きな影響を与え、アギラ・アステカを受章した作家です。

市収蔵作品の多くを占める深沢幸雄氏の作品をこの冬ぜひ市原湖畔美術館多目的ホールでご鑑賞ください。

展示作品 20 点

深沢幸雄 作 銅版画作品

- ・「廃墟の貌」(1955)
- ・「骨疾 E」(1955) 及びその原版
- ・ダンテ「神曲」《地獄篇より》
「ウゴリーノ」 / 「チェルベロ」(1957)
- ・「生 (2)」(1962)
- ・「橋」(1965)
- ・「愛に就いて」(1969)
- ・「旗 2」(1971)
- ・「時」(1972)
- ・「萩原朔太郎詩「青猫」より」(1974)
- ・銅版画集宮沢賢治「春と修羅」より
「堅い環路は…」(1970)
「ロマンス」 / 「青ぞらのはてのはて」(1986)
- ・「影 (メヒコ) B」(1974)
- ・「凍れる歩廊 (ベーリング海峡)」(1978)
- ・「アシエンダの地下にて」(1980)
- ・「寝呆けた詩人」(1991)
- ・「風紋の不死鳥」(1993)
- ・「灯がともる街 (メキシコシティの夜)」(1993)
- ・「鳥達の会話」(2015)